まち育てミーティングについて

■目的

弘前市は、**「暮らしを楽しめるまち」**を目指す都市の姿として、平成２６年度に都市計画マスタープランを策定しています。今までの人口増加社会から人口減少社会となった現在、少子高齢化や後継者不足など、地域コミュニティ・地域活動の衰退が懸念される中で、**成熟した持続可能な都市**となるためには、**地域力**をより向上させていくことが重要です。

まち育てミーティングは、全体的な弘前市のまちづくり構想を元に、中学校区別に自分たちや子・孫世代のために**地域別の特色を活かした構想**を策定し、実践に繋げ、さらには次世代へも継承していける仕組みを創ることを目指します。

■内容

【まち育て】

…まちの様々なことを学び、考えながら、自分たちでできることから、よりよいまちづくりを目指そうとする継続的な取組です。市民と行政が一緒に地域の将来について考えていく協働によるまちづくりを行っていきます。

【まち育てミーティング】

…身近な地域の特性・特色を活かしたまちづくりについて考えるワークショップです。このワークショップを通して、地域の資源を活かしながら住まい環境をより良いものにしていくために、具体的にどんな取組が必要で、どうしたら実現できるのかを地域住民・関係者・行政が一緒になって検討し、実践に繋げていきます。

★地域の特徴（自慢、大切なもの、気になること）を考えます！

地域の身近な暮らしの環境や地域の特徴について認識を深め、自分たちの生活する地域のまちづくりについて考えます。

★地域マップ、まちづくりプロジェクトリストを作成します！

検討の内容を整理し、地域の自慢マップ（地域の特徴や資源を示した地図）、今後取り組みたいまちづくりの内容を並べたプロジェクトリストを作成します。

★特に取り組みたいもの、実現可能性が高いものを実践に結び付けていきます！

特に取り組みたいもの等を「自主的に実現する方法」や「弘前市の“市民参加型まちづくり１%システム”などの活用」など、実践に結び付けていくことを想定しています。

■検討イメージ

意見交換をしながらポイントとなることを書き込む

意見やアイデアはどんどん地図や模造紙に書き込む

各班で話し合った内容を発表し、話し合いの成果を全体で共有する

■検討の流れ

第１回：地域の自慢を出し合い、地域の特徴を考えよう

〇主な検討内容

地域の自慢できること、気になっていること（心配事）、取り組んでみたいこと、ご自身や地域で取り組んでいることを出し合い、地域の身近な暮らしの環境や特徴について認識を深めます

⇒例：歴史、文化、風景・景観、自然、環境、コミュニティ、食、伝統芸能
工芸、祭り、生活の利便性、仕事、子供たち、四季の楽しみなど

第２回：地域の自慢を磨き、地域の特徴を生かしたまちづくりについて考えよう

〇主な検討内容

自分たちの生活する地域の自慢や特徴を活かし、磨きながら、地域の住まい環境をさらに良くしていくためにどんな取組ができるか考えます。

⇒子ども、子育て世代、若者、働き盛り世代、お年寄りなど地域に暮らす様々な人の視点に立ち、具体的なアイデアを出し合う

第３回：まちづくりの最初の一歩を考えよう

〇主な検討内容

第１回、第２回の検討を踏まえ、まず実現可能性の高いものや特に取り組んでいきたい取組を挙げ、実際に進めていくにはどうしたらよいかを考えます。

…どのような組織で検討していくか（町会やNPO、ボランティア団体、その他）

…活躍してくれそうな地域の組織や人材は

…行政、大学、専門家などに支援してもらいたいことは

■スケジュール

まち育てミーティングは毎年おおむね３中学校区ずつ実施していて、現在は**１１中学校区**で、すでに策定を終えています。

一回だけ実施して終わりではなく、毎年度どこかの中学校区で実施し続けるエンドレスな取組として、時間をかけて実施していきます。

平成２５年度	**第一中学校区、相馬中学校区**
平成２６年度	**第二中学校区、津軽中学校区、常盤野中学校区**
平成２７年度	**第三中学校区、東目屋中学校区、裾野中学校区**
平成２８年度	**第四中学校区、石川中学校区、新和中学校区**
平成２９年度	**第五中学校区、船沢中学校区、南中学校区**
平成３０年度	**東中学校区、北辰中学校区**